

レジメン名

weekly PTX+ramcircumab療法

出典 サイラムザ適正使用ガイド
Lancet Oncol.2014 Oct;15(11):1224-35
サイラムザ添付文書2020年11月改訂

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

胃がん
進行・再発
補助療法(術前・術後)

■各サイクル (Day 1,8,15) におけるパクリタキセルの主な投与基準

項目	投与基準
好中球数	各サイクル1日目: $\geq 1.5 \times 10^9/L$ 各サイクル8日目及び15日目: $\geq 1.0 \times 10^9/L$
血小板数	各サイクル1日目: $\geq 100 \times 10^9/L$ 各サイクル8日目及び15日目: $\geq 75 \times 10^9/L$
ビリルビン	\leq 実施医療機関の基準上限値の1.5倍
AST/ALT	肝転移がない場合: \leq 実施医療機関の基準上限値の3倍 肝転移がある場合: \leq 実施医療機関の基準上限値の5倍

■パクリタキセルの主な減量基準

有害事象	処置
グレード ^④ 4の血液毒性 又は グレード ^③ 3の非血液毒性	初回: 次回サイクルより10mg/m ² 減量 毒性が低く又は再発した場合: 次回サイクルよりさらに10mg/m ² 減量

注) 有害事象共通用語規準 (ver.4.0)

1コース期間 28日

総コース数 PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ラムシルマブ(サイラムザ)	8mg/kg	生食250mL	60分 [*]	day1, 15
※初回60分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
パクリタキセル	80mg/m ²	生食250mL	60分	day1, 8, 15

1日投与順
(経時的にプレティケーション・
ポストティケーション、溶解液まで含む)

day1, 15

- ①ファモチジン20mg+デキササート6.6mg
+ポララミン5mg+生食100mL(15分)
- ②グラニセロンバッグ (30分)
- ③サイラムザ8mg/kg+生食250mL(60分^{*})
(2回目以降30分まで短縮可)
インラインフィルターを用いて投与
- ④生食100mL(60分)(3コース目以降省略可)
- ⑤パクリタキセル80mg/m²+生食250mL(60分)
DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与
- ⑥生食50mL(フラッシュ用)

day8

- ①ファモチジン20mg+デキササート6.6mg
+ポララミン5mg+生食100mL(15分)
- ②グラニセロンバッグ (30分)
- ③パクリタキセル80mg/m²+生食250mL(60分)
DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与
- ④生食50mL(フラッシュ用)